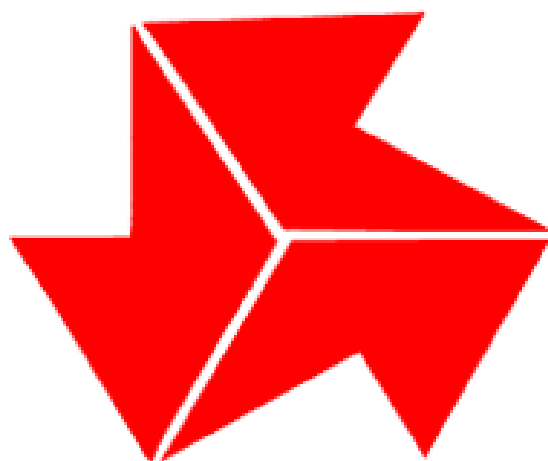


東日本大震災復興支援 ～ とどけよう スポーツの力を東北へ ～

第22回 鹿児島県高等学校新人ボート競技大会



期	日	平成 27 年 10 月 25 日 (日)
場	所	鹿 屋 市 大 隅 湖 漕 艇 場
主	催	鹿 児 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟 鹿 児 島 県 教 育 委 員 会
後	援	(公 財) 鹿 児 島 県 体 育 協 会 鹿 屋 市
		鹿 屋 市 教 育 委 員 会
		鹿 児 島 県 ボ ー ト 協 会
主	管	鹿 児 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟 ボ ー ト 競 技 専 門 部

大会役員

会 長	鹿 児 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟 会 長	堂 園 弘 之
副 会 長	鹿 児 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟 副 会 長	江 口 公 三
副 会 長	鹿 児 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟 副 会 長	近 藤 伸 子
副 会 長	鹿 児 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟 ボ ー ト 競 技 専 門 部 長	迫 孝 志
名 誉 顧 問	鹿 児 島 県 知 事	伊 藤 祐 一 郎
名 誉 顧 問	鹿 児 島 県 教 育 委 員 会 教 育 長	古 川 仲 二
顧 問	鹿 児 島 県 教 育 委 員 会 保 健 体 育 課 長	鹿 倉 貢
顧 問	鹿 児 島 県 総 合 体 育 セ ン タ ー 所 長	原 口 洋
顧 問	鹿 児 島 県 体 育 協 会 専 務 理 事	高 城 国 昭
顧 問	鹿 児 島 県 ボ ー ト 協 会 会 長	前 野 義 春
委 員 長	鹿 児 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟 理 事 長	桑 山 靖 幸
副 委 員 長	鹿 児 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟 ボ ー ト 部 専 門 委 員 長	又 木 一 弘
委 員	鹿 児 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟 ボ ー ト 部 専 門 委 員	岡 山 啓
委 員	鹿 児 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟 ボ ー ト 部 専 門 委 員	緒 方 裕 平
委 員	鹿 児 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟 ボ ー ト 部 専 門 委 員	後 藤 光

競技役員

競 漕 委 員 長	前 野 義 春			
競 漕 委 員	又 木 一 弘	岡 山 啓	緒 方 裕 平	後 藤 光
審 判 長	山 口 大 輔			
審 判 員	池 田 隆 之	指 宿 浩	田 中 康 太 郎	松 元 竜 二
	堂 園 貴 寛	宮 川 進	原 田 和 正	岡 山 進
	井 上 則 之	米 積 歩		
救 護	橘 木 康 文	岡 山 啓		
総 務	又 木 一 弘	緒 方 裕 平	池 田 隆 之	西 迫 文 廣
記 録	日 高 健 史			
配 艇	後 藤 光	池 田 隆 之	又 木 一 弘	
水 路	田 中 康 太 郎	池 田 隆 之	前 野 淳 志	
補 助 員	鹿 児 島 国 体 サ ポ ー ト ス タ ッ プ	鹿 屋 工 業 高 校 ボ ー ト 部 員		
	鹿 屋 高 校 ボ ー ト 部 員	鹿 屋 農 業 高 校 ボ ー ト 部 員	川 内 高 校 ボ ー ト	
	川 内 商 工 高 校 ボ ー ト 部 員			

部

大会日程

平成27年10月24日(土)

9:00 配艇受付開始
11:00 代表者会議
16:00 公式練習終了
17:00 艇庫閉鎖

平成27年10月25日(日)

8:00 審判役員会議
8:30 開会式
9:30 競技開始
15:00 競技終了
15:30 閉会式

開会式

1. 開会宣言
2. 県ボート協会会長挨拶
3. 審判長諸注意
4. 選手宣誓
5. 閉会通告

閉会式

1. 閉会宣言
2. 大会会長挨拶
3. 表彰評
4. 成績発表
5. 閉会式
6. 閉会宣言

競漕日程

平成27年10月25日(日)

1	9:30	男子ダブルスカル	予選A	M2×	予A	2/4
2	9:40	男子ダブルスカル	予選B	M2×	予B	1/3
3	9:50	女子シングルスカル	1回目	W1×	①	2
4	10:00	男子シングルスカル	1回目	M1×	①	5
5	10:10	女子ダブルスカル	1回目	W2×	①	2
6	10:20	女子舵手付きクォドルプル	1回目	W4×+	①	2
7	10:30	男子舵手付きクォドルプル	1回目	M4×+	①	3
休憩						
9	12:00	男子ダブルスカル	敗復	M2×	敗復	2/4
10	12:10	女子シングルスカル	2回目	W1×	②	2
11	12:20	男子シングルスカル	2回目	M1×	②	5
12	12:30	女子ダブルスカル	2回目	W2×	②	2
13	12:40	女子舵手付きクォドルプル	2回目	W4×+	②	2
14	12:50	男子舵手付きクォドルプル	2回目	M4×+	②	3
昼食・休憩						
15	14:20	女子シングルスカル	3回目	W1×	③	2
16	14:30	男子シングルスカル	3回目	M1×	③	5
17	14:40	女子ダブルスカル	3回目	W2×	③	2
18	14:50	女子舵手付きクォドルプル	3回目	W4×+	③	2
19	15:00	男子舵手付きクォドルプル	3回目	M4×+	③	3
20	15:10	男子ダブルスカル	決勝	M2×	決勝	5

競漕組合せおよび結果の記録

平成27年10月25日(日)				全種目 九州新人大会予選					
No.	発艇定刻	種目	種別	レーン	クルー名	記録	順位	備考	艇数
1	9:30	M2×	予選A	1					2/4
				2	鹿屋工業高校 A	3' 58" 10	1		
				3	鹿屋農業高校 B	4' 07" 47	3		
				4	川内高校 B	4' 04" 30	2		
				5	鹿屋工業高校 B	4' 14" 64	4		
2	9:40	M2×	予選B	1					1/3
				2	川内高校 A	3' 58" 79	2		
				3	鹿屋高校	4' 01" 14	3		
				4	鹿屋農業高校 A	3' 44" 36	1		
				5					
3	9:50	W1×	1回目	1					2
				2					
				3	梯 凧 沙	5' 02" 21	1		
				4	堂 園 碧	棄権			
				5					
4	10:00	M1×	1回目	1	植村 允亮	4' 01" 32	1		5
				2	尾形 謙太	4' 20" 54	2		
				3	永徳 脩樹	4' 37" 82	3		
				4	和田 怜大	棄権			
				5	柴田 力也	棄権			
5	10:10	W2×	1回目	1					2
				2					
				3	鹿屋高校 A	4' 26" 02	1		
				4	鹿屋高校 B	4' 35" 95	2		
				5					
6	10:20	W4×+	1回目	1					2
				2					
				3	川内高校	4' 00" 85	2		
				4	鹿屋高校	3' 56" 94	1		
				5					
7	10:30	M4×+	1回目	1					3
				2	川内高校	3' 57" 15			
				3	鹿屋工業高校	3' 29" 86			
				4	鹿屋高校	3' 35" 36			
				5					
休 憩									

8	12:00	M2×	敗復	1					2/4
				2	鹿屋工業高校 B	4' 01"97	3	予1-4	
				3	鹿屋農業高校 B	4' 01"19	2	予1-3	
				4	川内高校 A	3' 57"59	1	予2-2	
				5	鹿屋高校	4' 11"66	4	予2-3	
9	12:10	W1×	2回目	1					2
				2					
				3					
				4	梯 凧 沙	4' 47"41	1		
				5					
10	12:20	M1×	2回目	1				1-4	5
				2	永徳脩樹	4' 31"37	3	1-3	
				3	植村允亮	3' 54"04	1	1-1	
				4	尾形謙太	4' 14"29	2	1-2	
				5				1-5	
11	12:30	W2×	2回目	1					2
				2					
				3	鹿屋高校 B	4' 29"57	1		
				4	鹿屋高校 A	4' 33"29	2		
				5					
12	12:40	W4×+	2回目	1					2
				2					
				3	鹿屋高校	3' 56"72	1		
				4	川内高校	4' 01"17	2		
				5					
13	12:50	M4×+	2回目	1					3
				2	鹿屋高校	3' 29"91	2		
				3	川内高校	3' 51"47	3		
				4	鹿屋工業高校	3' 29"32	1		
				5					
昼食・休憩									

14	14:20	W1×	3回目	1					2
				2					
				3	梯 風 沙	4' 43"37	1		
				4					
				5					
15	14:30	M1×	3回目	1				2-4	5
				2	永 徳 脩 樹	4' 15"94	3	2-3	
				3	植 村 允 亮	3' 47"41	1	2-1	
				4	尾 形 謙 太	4' 10"65	2	2-2	
				5				2-5	
16	14:40	W2×	3回目	1					2
				2					
				3	鹿屋高校 A	4' 24"42	1		
				4	鹿屋高校 B	4' 35"07	2		
				5					
17	14:50	W4×+	3回目	1					2
				2					
				3	川内高校	3' 58"01	2		
				4	鹿屋高校	3' 55"60	1		
				5					
18	15:00	M4×+	3回目	1					3
				2	鹿屋工業高校	3' 23"34	1		
				3	鹿屋高校	3' 26"20	2		
				4	川内高校	3' 55"62	3		
				5					
19	15:10	M2×	決勝	1	川内高校 A	3' 52"48	2	敗-1	5
				2	川内高校 B	3' 59"92	4	予1-2	
				3	鹿屋工業高校 A	3' 57"11	3	予1-1	
				4	鹿屋農業高校 A	3' 40"06	1	予2-1	
				5	鹿屋農業高校 B	4' 04"48	5	敗-2	

※1-1・・・1回目の1位

予2-1・・・予選2組の1位

大会結果

種目	順位	クルー	
男子シングルスカル	1	植村 允亮(川内商工高校)	3'47"41
	2	尾形 謙太(鹿屋農業高校)	4'10"65
	3	永徳 脩樹(川内高校)	4'15"94
女子シングルスカル	1	梯 凧沙(川内高校)	4'43"37
	2		
	3		
男子ダブルスカル	1	鹿屋農業高校	3'40"6
	2	川内高校A	3'52"48
	3	鹿屋工業高校A	3'57"11
女子ダブルスカル	1	鹿屋高校A	4'24"42
	2	鹿屋高校B	4'35"7
	3		
男子舵手付きクォドルプル	1	鹿屋工業高校	3'23"34
	2	鹿屋高校	3'26"20
	3	川内高校	3'55"62
女子舵手付きクォドルプル	1	鹿屋高校	3'55"60
	2	川内高校	3'58"1
	3		

※各種目2位までが九州大会への出場権を獲得

出漕クルー名簿

第22回 鹿児島県高等学校新人ボート競技大会

男子舵手付きクォドルプル

川内高校
監督 福留 猛

シート	氏名	学年
S	今屋 虎汰朗	2
3	宮本 隆広	1
2	丸崎 開	1
B	宮野 秀宝	1
C	福山 健悟	1
補		
補		

鹿屋工業高校
監督 岡山 啓

シート	氏名	学年
S	新川 洋輔	2
3	草場 健太	2
2	村濱 翼	2
B	長濱 壮留	1
C	小浜 陸	1
補	駿河 祐介	2
補		

鹿屋高校
監督 船隈 貴博

シート	氏名	学年
S	山野 晴樹	2
3	矢野 雄大	2
2	上船 友嵩	2
B	荒平 健太郎	2
C	松園 尚都	2
補		
補		

男子ダブルスカル

川内高校A

監督 福留 猛

シート	氏名	学年
S	中塚 聖翔	2
B	中島 慧士	2
補		

川内高校B

監督 福留 猛

シート	氏名	学年
S	川畑 毅紘	1
B	東 雄一	1
補		

鹿屋農業高校A

監督 前野 淳志

シート	氏名	学年
S	今吉 海樹斗	2
B	宮地 高志	2
補		

鹿屋農業高校B

監督 前野 淳志

シート	氏名	学年
S	鍋山 喜徳	1
B	神田 友彌	1
補		

鹿屋工業高校A

監督 岡山 啓

シート	氏名	学年
S	山口 喬之	2
B	吉満 玲音	1
補		

鹿屋工業高校B

監督 岡山 啓

シート	氏名	学年
S	櫛下町 拓也	1
B	道中 恵扶	1
補		

鹿屋高校

監督 船隈 貴博

シート	氏名	学年
S	上馬庭 秀	1
B	林 恭星	1
補		

男子シングルスカル

川内高校
監督 福留 猛

シート	氏名	学年
S	永徳 脩樹	1

川内商工高校
監督 又木 一弘

シート	氏名	学年
S	植村 允亮	2

鹿屋工業高校
監督 岡山 啓

シート	氏名	学年
S	柴田 力也	1

鹿屋農業高校
監督 前野 淳志

シート	氏名	学年
S	尾形 謙太	1
S	和田 怜大	1

女子舵手付きクォドルプル

鹿屋高校
監督 船隈 貴博

シート	氏名	学年
S	佐々木 花音	2
3	穂山 晴香	2
2	堂満 智香	2
B	大町田 友加	2
C	永田 青空	2
補	浅井 優希菜	1
補		

川内高校
監督 福留 猛

シート	氏名	学年
S	福留 優	2
3	松永 南児	1
2	山崎 千春	1
B	川南 秀夏	1
C	大見謝 はるか	1
補		
補		

女子ダブルスカル

鹿屋高校A
監督 船隈 貴博

シート	氏名	学年
S	永山 未来乃	2
B	前田 日向	2
補		

鹿屋高校B
監督 船隈 貴博

シート	氏名	学年
S	下西 美温	1
B	中村 春日	1
補		

女子シングルスカル

川内高校
監督 福留 猛

シート	氏名	学年
S	梯 凧沙	2

鹿屋高校
監督 船隈 貴博

シート	氏名	学年
S	堂園 碧	1

【配艇について】

- ◆ 靴等のサイズが合わない場合は、各団体の責任で持参したものと取り替えてください（当方では準備しません）。なお、取り替えた場合は、艇返納時に確実に現状復帰してください。
- ◆ 艇を破損したり部品等を紛失した場合、各団体の責任で確実に修復（弁償）していただきます。
- ◆ 水上練習については、別紙「大隅湖航行経路（水域）及びボートコース」の指示に従ってください。

● 男子4×+

- ・ 鹿屋工業高校 … みやのうら2（黄）
- ・ 川内高校 … みやのうら3（黄）
- ・ 鹿屋高校 … みやのうら4（黄）

● 男子2×

- ・ 鹿屋工業高校A … さくらじま1
- ・ 鹿屋工業高校B … さくらじま4
- ・ 鹿屋高校 … さくらじま7
- ・ 鹿屋農業高校A … さくらじま10
- ・ 鹿屋農業高校B … さくらじま2
- ・ 川内高校A … さくらじま6
- ・ 川内高校B … さくらじま3

予選の組み合わせにより決定

* 男子2×に関しては、予選後再配艇とする。配艇方法は敗者復活戦でのレーンに合わせて配艇を行う。
敗者復活戦のための抽選は行わない。また、決勝に関してもレーンに合わせて配艇を行う。

○ 女子4×+

- ・ 川内高等学校 … たかくま1
- ・ 鹿屋高等学校 … たかくま2

○ 女子2×

- ・ 鹿屋高校A … サザン白
- ・ 鹿屋高校B … サザン黄

大隅湖航行経路（水域）及びボートコース

つり橋

衝突事故多発地点！
1000mコース利用クルーに注意！

線審台

判定台

本部席

発艇台

高隈ダム

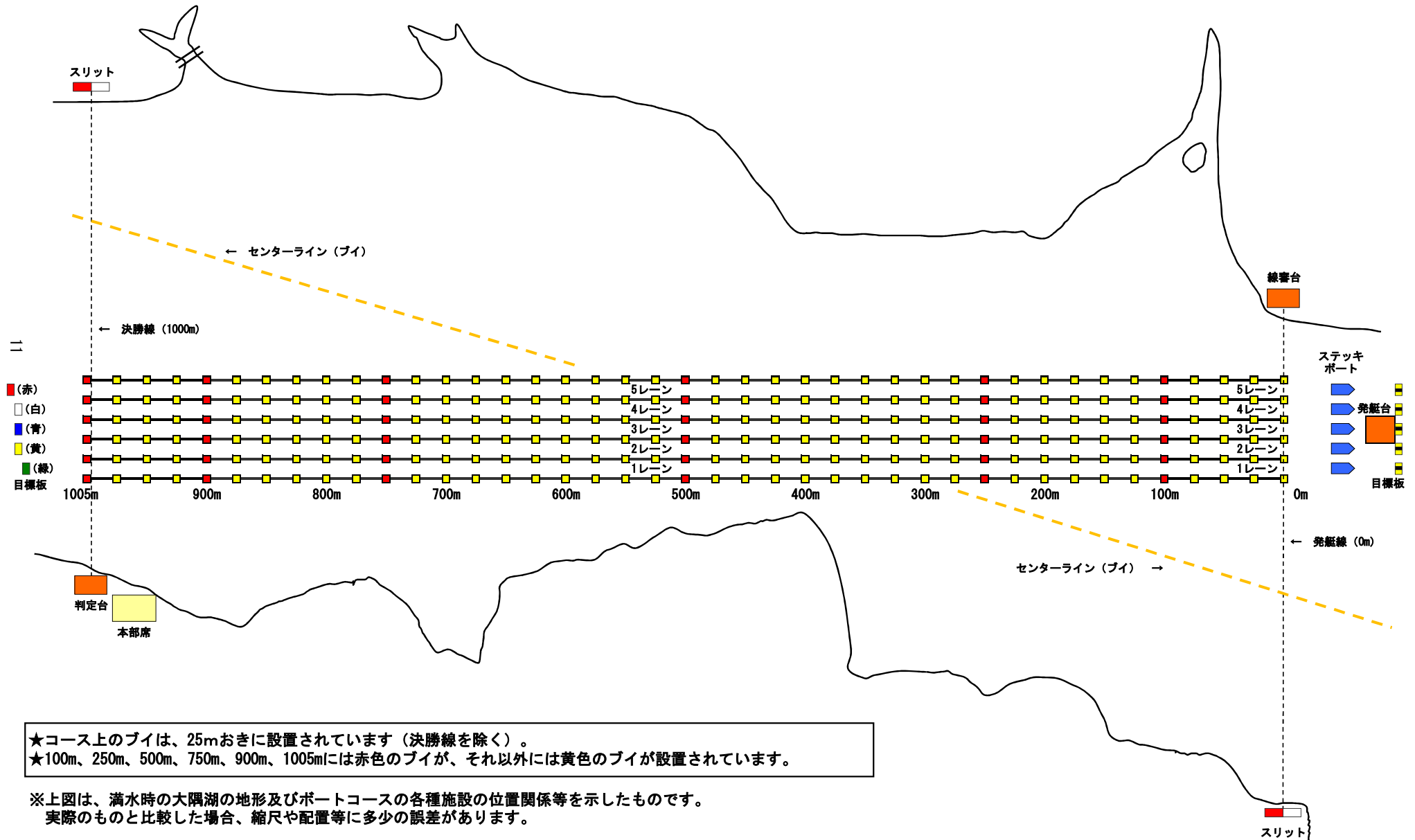
艇庫

--- センターライン（ブイ） ※右側通行厳守！

← 練習（回漕）時の航行経路

※練習配艇日と大会当日は**1000mコース利用クルーを優先**します。
※練習（回漕）中のクルーは、図に示したように**コースを避けるように通過**するか、あるいは他のクルーがコースを利用していないことを確認の上、**速やかにコースを横切るように**してください。
※逆漕は厳禁です。

大隅湖ボートコース概略図



★コース上のブイは、25mおきに設置されています (決勝線を除く)。
★100m、250m、500m、750m、900m、1005mには赤色のブイが、それ以外には黄色のブイが設置されています。

※上図は、満水時の大隅湖の地形及びボートコースの各種施設の位置関係等を示したものです。
実際のものと比較した場合、縮尺や配置等に多少の誤差があります。

レースにあたっての審判上の注意

鹿児島県ボート協会審判部

この大会は、公益社団法人日本ボート協会の競漕規則に基づいて行なう。
開催要項や航行規則、代表者会議の決定事項を遵守すること。

1 安全に留意し事故防止に努める

コース、練習水域、待機水域及び離接岸時等における接触・衝突事故には細心の注意を払い航行すること。天候の悪化や雷が発生した場合、大会本部の指示に従うこと。救命具の所持義務を競漕規則から削除したが、「救命具不要論」ではない。安全のガイドラインに基づき、自己の安全を保って参加されたい。

2 所定の手続き

各種変更手続きは、所定の手順に沿って定められた時間までに行なうこと。
例えば、急な病気・ケガを除き「棄権届」を定められた時間までに提出しないと、勝手に出漕しないものと判断し、記録上は「失格」扱いとなるので注意すること。

3 艇計量

この大会は、艇重量について競漕規則第10条に記載されている最低重量とする。

4 予備計量

本計量が立て込んでいる時を除き予備計量を認める。予備計量器が本計量器と異なる場合もあるので了承を願う。なお、予備計量は原則1回とするが、状況を判断し、大会日によって複数回認める場合もある。係員の指示に従うこと。

5 舵手（COX）計量

舵手（COX）の体重は、ユニフォーム（通常のレースに出る服装）を含め男子55kg以上、女子50kg以上とする。これに満たない者は、最大限10kgのデッドウェイトを舵手のそばに置かなければならない。計量は、レースのある日は必ず1回、最初に出漕するレースの2時間前から1時間前までに行う。

舵手計量所では水分摂取を禁止する。計量時の服装は出漕に用いるユニフォームとする（時計・サングラス・重いアクセサリ等は外す）。

6 服装

クルーは出漕に際し、アンダーシャツ・タイツ等を含め統一した服装（ユニフォーム）を用い、不揃いであってはならない。帽子・ハチマキ等については、着用する漕手・舵手は同一のものを着用すること。この場合、クルーの中に着用しない漕手・舵手がいてもかまわない。

7 回漕中の除外

コース周辺で回漕（練習）するクルーは、レースが来たときは必ず100m手前で艇を止め、レースが通過するのを待つこと。これに違反して審判から警告を受けたクルーは、**フォルススタート**1回で除外となるので注意すること。

8 発艇部署での注意事項

前のレースが100mを通過すると発艇員は次のレースのクルーを呼び込む。その指示に従い、自己のレーンに速やかに進入すること。

発艇定刻2分前までに発艇位置（ステッキボート）に着かないと「警告」を受ける。万一、2分前に発艇したら失格となる。遅れることは、大会の運営や他のクルーに迷惑をかけることになる。

なお、艇の故障等で発艇定刻に間に合わない場合は、必ず最寄りの審判員に申し出て許可をもらうこと。ただし、申し出ても、概ね1レース分程度しか発艇定刻の変更をしない（故障で遅れたクルーは失格となる）ので、各クルーは艇・オール・リガー等十分に点検の上、レースに臨むこと。

9 発艇号令

【通常の場合】 ロールコール → 『アテンション』 → 『ゴー』

【クイックスタートの場合】 『クイックスタート』 → 『アテンション』 → 『ゴー』

ロールコールあるいは『クイックスタート』の号令がかかった後は、クルーは発艇猶予を求めることはできない。発艇定刻2分前になったら、いつでも発艇できるように準備をすること。なお、艇の方向を定めるのはクルーの責任であり、審判員及びボートホルダーの任務ではないので注意されたい。

10 救済措置の廃止

平成25年8月の競漕規則改訂により、100m以内の艇故障（自艇・借艇は問わず）についての救済措置は廃止されたので十分注意すること。各クルーは、出艇前に艇及びオール等に不具合がないか十分に点検を行ったうえでレースに臨むこと。

11 レース中の注意

自己のレーンを守らず、他艇に接触・妨害をする危険のある艇に対し、主審が警告をすることがある。この場合、主審は白旗を掲げ、当該クルー名を呼ぶ。

また、衝突等の危険がある場合、特定のクルーにのみ停止を指示する場合がある。この場合も白旗を用いるので、指示されたクルーは必ず従うこと。

なお、何らかの理由でレース全体を止める場合、主審は赤旗を振り、鐘を鳴らし『止まれ』と指示をする。

レース中、極端に遅れたクルーを審判艇が追い越す場合がある。この際、追い越されたクルーは波を被ることになるが、自分の遅れたせいでもあるので忍んでほしい。

審判は、危険及び違反を予知したときとっさに鋭く言葉を発して安全を確保しようとする。例えば、緊急度に応じ「止めなさい」「止めろ」といった言葉を使用するが「止めてください」は用いない。

審判の動作号令用語はインパクトが強く、いち早く相手に伝わる言葉を使用する。決して叱り飛ばす意味ではないので、誤解しないほしい。

12 故意による接触・妨害に対する措置

同一所属団体の複数のクルーが同じレースに出漕し、そのうちの1艇が故意に他艇に接触または妨害したと判断した場合、主審はその所属団体の当該レースに出漕していた全クルーを除外とし、場合によっては失格となるので注意すること。

13 レース終了後

決勝線を通過したクルーは、審判艇が旗を揚げるまでゴール付近で待機すること。また、レースに対する異議がある場合は、主審が白旗を揚げる前に主審に申し出ること。

主審艇より白旗が揚がった場合はレースは成立となる。もし赤旗が揚がった場合、そのレースに何らかの疑義があることを示すものであるため、その場に待機し、主審の指示を待つこと。

14 レース中の選手の落水

レース中、不可抗力により漕手が落水してもそのクルーの着順を認める。ただし、漕手が故意に飛び込んだと認められる場合や、故意・過失を問わず舵手を欠いてゴールした場合、当該クルーは除外となる。

シングルスカルの場合、自力（他人の助けを借りず、艇を岸や審判艇等につけない）で乗艇し決勝戦を通過した場合は着順を認める。ただし、選手が救助を求めた場合や次のレースに支障がある場合及び危険な状態であると主審が判断した場合は救助する（途中棄権扱い）。転覆した際、手を使わず靴が脱げるよう、必ずストレッチャーの靴のかかとに紐をつけ、適切な長さ（7cm程度）に固定しておくこと。

15 無線通信機器の使用禁止

艇内に無線通信機器（携帯電話・トランシーバー・ラジオ等）を持ち込んだり、岸から拡声器又は無線通信で指示を与えることは禁止されているので注意されたい。

このプログラムに記載されている氏名その他の個人情報は、本大会の運営、開催目的達成のため
のみに利用されるもので、その他の目的には一切利用できません。